allcinema

# 悪魔が夜来る（1942）

LES VISITEURS DU SOIR

**メディア** 映画
**ジャンル** ドラマ　ファンタジー
**製作国**　フランス
**色彩**　B&W
**時間**　123分
**初公開日** 1948/07/27
**公開情報** ＳＥＦ＝東宝

**【解説】**

１５世紀フランス。ユーグ男爵の城でアンヌ姫（デア）と騎士ルノーの婚約の宴が催されていた。集まった旅芸人の中には、吟遊詩人に化けた悪魔の使い、ジル（キュニー）とドミニク（アルレッティ）の姿があった。それぞれ婚約の二人を誘惑して、この幸福を壊そうというのである。ダンスが始まって、ドミニクは魔法を使い、ホールの人々を石のごとく固め、早速、目的を達しようとルノーに近づく。ジルもアンヌに迫るが、どうにも彼女に本気で夢中になってしまった。これで、悪魔その人が登場。男爵もドミニクの虜となり、争奪の決闘にルノーは倒れた。そして、悪魔によって牢につながれてしまうジル。アンヌは彼を救おうと悪魔の申し出を呑んだ。釈放されたジルは記憶喪失状態だったが、アンヌと初めてキスを交わした泉の水を飲ませると、愛の記憶を呼び覚ました。しかし、それが悪魔の嫉妬を買い、二人は石にされて鞭打たれる。だが、その心臓は変わらず熱く鼓動している。ちょうど、ナチ占領下においても、フランス人の自由への希望が萎えることがないように……。反ファシズムのメッセージを巧妙に溶け込ませた、カルネ＝プレヴェール、黄金コンビのポエティックな中世幻想譚。このコンビの作品を支え続けたＡ・トローネルの美術の素晴らしさは言うまでもなく、キュニーの憂いを含んだ表情と対照的なアルレッティのコケティッシュなムードが軽やかに煽情的で、デアの清楚な美しさも忘れ難い。

**【クレジット】**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **監督** | マルセル・カルネ | Marcel Carne | |
| **製作** | アンドレ・ポールヴェ | Andre Paulve | |
| **脚本** | ジャック・プレヴェール | Jacques Prevert | |
| | ピエール・ラローシュ | Pierre Laroche | |
| **撮影** | ロジェ・ユベール | Roger Hubert | |
| **編集** | アンリ・ルスト | Henri Rust | |
| **音楽** | モーリス・ティリエ | Maurice Thiriet | |
| | ジョセフ・コズマ | Joseph Kosma | |
| **助監督** | ミケランジェロ・アントニオーニ | Michelangelo Antonioni | |
| **出演** | マリー・デア | Marie Dea | アンヌ |
| | アラン・キュニー | Alain Cuny | ジル |
| | ジュール・ベリ | Jules Berry | 悪魔 |
| | フェルナン・ルドー | Fernand Ledoux | ユーグ男爵 |
| | アルレッティ | Arletty | ドミニク |
| | マルセル・エラン | Marcer Herrand | ルノー |
| | ロジェ・ブラン | Roger Blin | |
| | シモーヌ・シニョレ | Simone Signoret | （クレジットなし） |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.